

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の火祭り多世代交流 ・夏休みラジオ体操・朝食会交流、「おうちにサンタがやってくる」、餅つき大会(南町二区)/新栄町夏祭り、町内大運動会(新栄町) ・障がい施設利用者と地域住民との交流(ほっとサポートしんえい・新栄町・新津緑町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キット配布事業(見守り) ・生活支援活動「ビジネスみゆき」の継続(美幸町) ・除雪のたすけあい活動(新栄町除雪見守り隊) ・自主防災訓練(実施町内会) ・避難行動要支援者との交流(山谷町1) ・新津第一中と地域合同の防災学習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防講座 ・(各地)地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン ※リハステーションてんじんの会場提供による「サロン天神」運営の継続 ・新栄町・新津緑町支え合い移動支援の継続とふり返し会(ほっとサポートしんえいと連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携による歳末見守り事業(10町内実施→前年度比+5町内) ・生活支援活動「ビジネスみゆき」の継続(美幸町・再掲) ・避難行動要支援者とのつながり(山谷町1・再掲) ・町内会長と民生委員の常時連携体制構築(南町二区)
活動の様子	<p>生活支援「ビジネスみゆき」</p> 	<p>施設とつながる「サロン天神」</p> 	<p>新栄町・新津緑町移動支援(ほっとサポートしんえいと連携)</p>  <p>移動支援ふり返し会(定例)</p> 	<p>地域連携による歳末見守り事業(10町内会)</p> 
取組んでみての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり(第3幼稚園を開放して実施) 参加するのはひまわりクラブの子たちばかり。本来の目的とは違う利用の仕方になっている。 ・(雪の火祭り) 中学生の参加呼びかけが課題か 	<ul style="list-style-type: none"> ・(美幸町)自主防災訓練 長年継続しているが、そのためにマンネリ化が生じている。新たな工夫が求められる。次年度はゲーム要素を取り入れたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(サロン天神) 町内会からの参加呼びかけに工夫が必要と感じている。他の活動を参考にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(山谷1丁目) 心配な世帯を包括支援センターなど専門機関につなぐ支援を行ったが、対象の方には喜ばれなかった。日頃のつながりがあることや、一人一人が必要な時には福祉につながるという意識を持つことが大切と感じる
取組んでみての評価	<ul style="list-style-type: none"> ・(雪の火祭り) 伝統行事の継承、一時途絶えたがコミ協行事で復活したことで定着し、地域住民の多世代交流の大事なイベントになっている ・(ほっとサポートしんえい利用者と高齢者の交流) 地域の茶の間送迎を通し、障がいある 	<ul style="list-style-type: none"> ・(新栄町×ほっとサポートしんえい) 町内と施設の防災協定の検討を開始、災害時に強みを生かして助け合うしくみにつながっている ・(美幸町)自主防災訓練 自主避難した家は旗を掲げるなどの安否確認訓練を継続し、定着してきた ・中学校と地域の防災学習により、中 	<ul style="list-style-type: none"> ・(ほっとサポートしんえいの茶の間送迎支援) 継続することとふり返りの会を地域と持つことにより福祉施設と地域のつながりが強化されている。サロン参加支援により高齢者の介護予防が継続出来ている。 ・各地区の地域の茶の間・サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・(ウエルケア新津運営協議会) 協議会を通じて、参加している専門職と地域の人のつながりが作られていることは良かった。地域に事業所がある意義になる。 ・歳末見守り事業 町内会と民生委員の協力体制を作って見守り訪問することができた。持参品

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
	利用者にも役割ができる機会となっている ・(小学校の総合学習、花植え活動) 地域と学校のつながりが強化され、住民と子どもの顔が繋がってきている	学生の積極的な考えを知ることができた ・(除雪の助け合い活動) 独居高齢者や障がい者の家の除雪も担っている。凍結しやすい道に凍結防止剤を撒くなど、子どもの安全にも気を配っている町内が増えてきた	サロンの継続により高齢者の楽しみや介護予防につながっている	をコミ協で選定し、コミ協の活動として取り組んだことも良かった
5年間の評価				
<p>各基本目標に向け、計画書に書かれていることに取組んだかどうかで評価し、懇談会に参加した地域の皆さんがお一人ずつ評価してくださいました。 A=80%以上取組めた(新規活動や既存活動の工夫を行った) B=50%の取組み(既存の取組みの継続) C=30%の取組み(道半ば・やめてしまった)D=全く取組みなかった ※グラフは、評価をつけた方の人数の割合です。</p>				
地域に残る福祉課題	<p>【子供の居場所】 ・実施したが課題が残ったため、今後も検討協議していく必要がある</p> <p>【安心安全な地域づくり】 ・平日日中は中学生と高齢者が中心の地域になっている。地域に残る住民と中学生の顔の見える関係づくりは継続する必要がある</p> <p>【孤立・孤独の課題】 ・県外に子供世代が転出した独居高齢者が多く在住する。8050世帯の相談が多い。いつの間にか空き家になっている世帯も増えている。何かあってからの介入は近況などの情報が乏しく大変になるため、日頃からの見守りや地域とのつながりを意識して地域の側からも作る必要がある ・地域住民と専門機関とのつながりを強化し深めていく取り組みが必要となっている。</p>			

【参加者】 新津西部コミ協:蓮沼会長、奥山副会長、小松副会長、内田副会長、斎藤事務局長、山田事務局員(新津第三小 co)、新津西部民協:長井会長、町内会:中村会長(山谷1)、田邊会長(山谷町 2.3)、五十嵐会長(南町二区)、野原会長(新栄町)、吉田会長(古田)、押味会長(天神)、(福)親和福祉会ほっとサポートしんえい:山本管理者、(株)ウェルケア新津:杵鞭社長、地域包括支援センター新津:丸山保健師、秋葉区社協:秋山事務局長補佐、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)